

広報

ごしょがわら

発行 五所川原市
 〒037
 青森県五所川原市字岩木町12
 ☎0173-352111(代)
 編集 総務部企画調整課
 印刷 南北斗オフセット

市の人口 総数51,434人 (男24,543・女26,891) 世帯数15,172 (11月30日現在)

(毎月2回 1日・15日発行)



絵：山谷芳弘氏

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

平成2年

No.702

1-1

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

る変革に向けて 市政の確立



新年あけましておめでと
うございます。

昨年(昭和)は年明け早々、昭和天皇の崩御という不幸なスタートを切った年でありましたが、わが市においては一連の市政混乱に終止符を打ち、五所川原市再生に向けて新たな一歩を踏み出した年でありました。

「南小学校校舎」「五所川原小学校体育館」の新築着工、「飯詰農産物加工センター」の完成、さらには初めて県外で実施した「津軽半島五所川原観光物産展」の成功など五所川原市の底力を遺憾なく発揮できた年を

に長年の懸案であった市街地の一方通行規制が解除され、また「新津軽大橋」も十一月二十八日には完成するなど、市街地の交通渋滞は大幅な改善をみたのであります。

市長

かかる時期に再度市政担当の機会を与えてくれました市民の皆様深く感謝申し上げますとともに、責任の重大さをあらためて痛感している次第であります。

おかげをもちまして、待望の「五所川原大橋」は昨年八月三十日完成し、同時に津軽自動車道の浪岡・五所川原間十五キロが平成三年度に着工の見通しとなるなど二十一世紀に向けて大きな展望が開かれた年でもありました。二十一世紀を目前に控え、変革のときを迎えている今こそ将来を見通した揺るぎない市政の確立を図って参りたいと決意を新たにいたしております。

佐々木 榮造

あるまちづくりの根幹をなすものであります。西北五唯一の工業用水を備えた漆川工業団地は順調な企業の進出、工場拡張等により分譲可能地は三・二畝を残すのみとなりました。このため第二工業団地の建設計画を具体化するともに、引き続き企業誘致に全力を挙げ取り組んで参ります。

当市を拠点とする西北津軽及び津軽半島の振興を図るうえで交通体系の整備は急務であります。特に津軽自動車道建設に対応する交通網整備計画を急ぎ策定するとともに、これに即した都市計画の総合的な見直しを進めて参る所存であります。また、都市計画街路姥・田川線、田川・三ツ屋線、漆川・岩木町線の整備促進を図るとともに、国道三三九号五所川原・鶴田バイパスの早期完成を国・県に強く要請して参ります。

農業はあくまで市の基幹産業であります。減反、価格の低迷に加え農産物の自由化問題は、農業を取り巻く環境を一層深刻化しておりますが、時代の変化に対応できる足腰の強い農業確立のため、米とりんごに加え野菜、施設園芸、畜産等の一層の振興を図らねばなりません。そのためにも農業センターの機能強化に努め、バイオテクノロジーを始めとする新技術の導入と普及に努めて参ります。

企業誘致とともに地場産業の振興、育成も急務であります。富士見団地建替事業は本年度内に第三棟目が完成し、合わせて五十四戸の入居が可能となる見込みであり、引き続き平成七年度までに十三棟(二百八十六戸)の

来たるべき二十一世紀においても、当市が西北津軽及び津軽半島の中心地としての地位を不動のものとするため、商業近代化を積極的に推し進める所存であります。今後とも商工関係者ならびに市議会と一体となり駅前再開発の取り組みを進め、その核となる旧国鉄用地を速やかに取得する決意であります。

津軽フラワーセンターを北限の梅林として整備するほか、市内に多数ある公園をそれぞれ特色あるものとし、さらにサイクリングロードによる相互連絡を図り

また、平成二年度から二か年計画で菊ヶ丘運動公園の一面に花菖蒲園を建設いたします。五万株以上の花菖蒲を植栽するとともに、清流、噴水、樹木園、イベント広場の建設など、津軽の津和野(島根県)を目指した整備をして参りたいと考えております。



21世紀！新たな五所川原

都市公園としての整備・充実を期して参る所存であります。

また、ふる里創生事業として計画した「虫おくりの里」構想は、わが市の未来に大きな夢を与えるものであり、広域観光・ふる里おこしの軸として計画を進めて参ります。

教育、文化、スポーツの振興と充実は、二十一世紀を展望した人づくり、まちづくりの基本であります。南小学校継続事業、児童の急増に対応した栄小学校

輝かしい平成二年の新春を迎え謹んでお喜びを申し上げます。

市民の皆様には日頃より市政に対しましていろいろご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

五所川原市も、市制施行以来三十六年目という最も働き盛りの年を迎えたわけ



帯性をもって農商工の連携を推進する中でのみ見出せ

市議会議長

山口

徳二

増築事業、五所川原小学校プールの整備を始め、待望久しい市民文化会館の新築に向け用地の選定及び基本設計に着手いたします。また、市政の懸案事項であります老人ホーム「くろみ園」の新築にいよいよ今春着工、年度内完成を目指します。産業、経済、文化における西北津軽の拠点都市として大きな発展、役割が課せられているわが市の将来構想を描く「新五所川原市総合開発計画」の策定も急務

であります。昨年来、二十一世紀市民会議の地域集會・中央集會を通じ、各界・各層からいただきました貴重なご意見・ご提言につきまして、具体的に反映させるべく鋭意作業を進めているところであります。私の市政方針は、人づくりを基本とした総合的な生涯政策を推進することであり、あくまで市民を市政の中心に据えることとあります。今年には午年でありますが、順風よりもあえて逆風を好

の整備が進められ、本年はかつてない明るい展望のもとにあります。本市の行政需要はますます複雑多様化し誠に厳しいものがございますが、市民生活の安定向上を目標として、市民各位のご期待にこたえるよう新年にあたり決意を新たにいたしておるところであります。明るく、うるおいのあるまちづくり、そして活力の

あるまちづくりには広く五万市民のお知恵をお借りするため市民のより自主的な行政参加を願ってやみません。特に、経済成長と同時に伸びて参りました福祉政策が最近引き締められる感があります。高齢化社会への移行とともにその施策には常に暖かい手をさしのべて参りたいと思っております。北国の当市としての宿命である積雪の問題についても適切な克雪策をとり入れむしろスポーツ等にも活用してまいりたいと思う次第であります。来る二十一世紀に向け躍進を期する当市にとりまして、その基本となります市民生活の向上、生活環境の整備こそは我々の責務であり、その充実に一層の努力を傾注する覚悟であります。どうぞ本年も相変らぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。市民各位のご健勝、ご繁栄を心からお祈りいたしまして新年のごあいさついたします。

市長、新春テレビ対談
「ご視聴ください」

■青森テレビ(ATV)
 一月二日(火)午前七時四十五分から八時まで

■青森放送(RAB)
 一月三日(水)午前七時十五分から七時三十分まで

むウマにあやかり、敢然と変革の時代を切り拓いて参る所存でありますので、一層のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

年頭にあたり、市民各位のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

農産物加工の対策協を設立

市内にある七つの農産物加工センターを有効に活用しようとして十一月六日、農産物加工センター振興対策協議会が設立されました。

組織会は産経会館に各加工センターの代表、市農林課、北地方農林事務所の担当者ら約三十人が出席して開かれ、逆瀬川市経済部長が「横の連携を強め知恵を

出し合って、加工センターをより活性化しよう」とあいさつ、深沢市農林課長が設立の趣旨と農産物加工の現状、問題点などを説明しました。

次いで会長に飯詰むらぶくり協議会の藤森良一氏、副会長に猿元農産物加工研修センターの伊藤博治氏、毘沙門・長富地区農産物加

工センターの藤森キンコ氏を選任しました。

また事業計画では、農産物加工の振興策や加工品の統一ブランド、研修会の実施、先進地視察などについて協議しました。



設立協議会々場



お祝いを述べる小山内助役

しきしまコミセン 設立5周年を祝う

しきしまコミュニティ住民協議会(岩川昭三会長)の設立5周年祝賀会が、十二月九日午後一時から同コミュニティセンターに三十人ほどの住民が出席して行われました。

祝賀会では岩川会長が「住民協議会の機能をより高め、地域住民のコミュニティ活動をさらに盛りあげよう」とあいさつ、次いで前会長の高橋慶蔵氏に表彰状と記念品を贈りました。

婦人防火クラブに

広報車贈る

財団法人日本防火協会(笹川良一会長)はこのほ

ど、三好地区婦人防火クラブ(竹谷トキ部長・クラブ



贈られた防火広報車

員九十五人)に防火広報車一台を贈り、日頃の活動に報いました。

贈られた広報車は、ニッサンキャラバンの九人乗りワゴン車で、拡声機や投光ランプ等の設備があります。

同婦人防火クラブは、地域から火災をなくしようと昭和五十七年三月に結成し春秋の火災予防週間には毎戸にチラシを配るなど身近な火災予防運動を続けています。

とばを述べ、設立五周年を祝いました。

「津軽っ子」 第19号を発行

出稼ぎ家庭の子どもたちが綴った文集「津軽っ子」(第十九号)がこのほど発行されました。

市民相談室が編集にあたっていたもので、「津軽っ子」には市内二十二の小・中学校の三百十九人の作文が掲載されています。

発行された文集は、B5判、百八十三ページで、学校ごとに作文と児童・生徒の写真が掲載されています。

生活道路確保に全力、除雪隊が結団式



結団式風景

市除排雪対策本部(本部長小山内助役)の除雪隊結団式が十二月十五日午前十時から広田・市建設機械格納庫前に委託業者の運転手、市職員など五十人ほどが参加して行われました。

佐々木市長が、「決意を新たに生活道路の確保に全力をあげてほしい」と励ましたあと、除雪車の始業点検をし、小山内助役の音頭でジュースで乾杯、無事故を誓い合いました。

このあと参加者は、コミユニティセンター栄で作業中の交通安全について講習を受け、事故防止策を再確認しました。

交換留学生が訪問

「雪を初めて見た」

ライオンズクラブが行っている青少年交換事業で、オーストラリアから本県を訪れている交換留学生二人が十二月十二日市を表敬訪問しました。

五所川原ライオンズクラブ幹事の小田川洋一さんと市役所を訪問した一入は、佐々木市長に当地のミニチュア旗を手渡し、「オーストラリアはいま暖かいが、こちらへ来て雪を初めて見た。寒さにはびつくりした。国際交流を肌身で体験したい」

訪問したのは、オーストラリア南東部・ニューサウスウェールズ州からやってきたジョアン・コースターさん(19)とアマンダ・リ

青森テレビで救急車を寄贈

ATV・青森テレビ(株) 寄贈し、中村社長が佐々木市長に目録を手渡しました。同日の開局二十周年を記念して贈ったもので、佐々木市長が「人命救助活動に役立てて、ご意思に報いたい」とお礼のことばを述べ感謝状を贈りました。



目録を手渡す中村社長(左)

社会福祉にと 35万円寄付

市内唐笠柳字藤巻の寺田義雄さんは十二月九日、社会福祉に役立ててく

と三十五万円を市に寄付、長男の春一さんが佐々木市長に手渡しました。

十一月三日に亡くなったご母堂子せさんの香典返しで贈ったものです。



佐々木市長に手渡す寺田春一さん(左)

大臣感謝状

上見さんらに

市内梅田字鴻ノ巢の上見金一さんら三人はこのほど、農林水産統計に対する功勞が認められ、農林水産大臣から感謝状が贈られました。上見さんは二十年以上にわたって調査に協力したものです。また、十五年以上にわたって調査に協力した功勞で広田字下り松の山田則昭さん、飯詰字福泉の鳴海正悦さんも感謝状を受けました。



アマンダさん(右)とジョアンさん

工業統計調査にご協力を

製造業を営む皆さん、今年も全国いっせいに「工業統計調査」が実施されます。

新年を迎え忙しい中を調査員がお伺いしますが、ご協力くださるようお願いいたします。

皆さんにご記入いただいた調査票は、統計以外の目的に使われることは絶対にありませんので、ありのままお書きください。

▷調査範囲…製造業に属するすべての事業所が対象となります。

※この調査についてご不明の点は、市企画調整課統計調査係(☎352111番内線315番)へお問い合わせください。

農家のみなさん! 農業委員選挙人名簿登載申請書 の提出をお忘れなく

今年には農業委員の改選の年です。

選挙人名簿登載有資格者は、1月10日までに申請書に記入のうえ、それを行政連絡員等に手渡しするか農業委員会事務局へ提出してください。

詳しくは、平成元年12月15日号の市広報「ごしょがわら」をごらんください。

担当 農業委員会事務局(☎352111内線29・230番)

第1回 ふるさと山村写真コンテスト

▷テーマ 日本のふるさと「山村」

山村風景、山村の暮らし、山のしごと、山にくらす人々等「山村」をテーマにしたものであれば素材は自由。

▷応募方法 ○カラープリント四ツ切(組写真は除く)○何点でも可(未発表に限る)○作品裏に題名、撮影場所、年月日、氏名、年齢、性別、住所、電話番号、職業を明記。

▷締切日 1月31日(当日消印有効)

▷送り先 〒100 東京都千代田区永田町1-11-35 全国町村会館全国山村振興連盟内「ふるさと山村写真コンテスト係」(☎03-581-2908番)

▷主催 国土庁、全国山村振興連盟



免除を受けた保険料は 追納できます

国民年金には、経済的な理由などで保険料納付が困難なときに保険料を免除する制度があります。

免除を受けた期間については、老齢基礎年金の額を計算するとき、保険料を納付した期間とくらべ3分の1となります。

そこで、生活に余裕ができたときに、過去10年前までさかのぼって免除を受けた期間の保険料を納めることができます。これを「追納」といい、追納する保険料の額は、免除を受けた当時の額に、追納するまでに経過した年数に応じて一定の率を掛けた額を加算した額となります。

この追納制度を利用し、満額、あるいは満額に近い年金を受けたいものです。

詳しいことは、市保険年金課(☎352111番内線265番)へおたずねください。

青函インターブロック交流圏 シンボルマーク募集

▷テーマ 「ロマンと活力のある青函圏の形成」をめざす青函インターブロック交流のイメージを表わしたものを。

▷用紙 B5版、白紙

▷画材 ポスターカラー、水彩絵の具など自由(色数は3色以内)

▷応募方法 作品の裏面に住所、氏名、年齢、職業及び電話番号並びに作品の作成意図または説明を記入してください。何点でも可。

▷募集締切 1月10日(当日消印有効)

▷応募先及び問い合わせ先

〒030 青森市長島1丁目1番1号

青森県企画部企画課内

青函インターブロック交流圏構想

推進協議会

シンボルマーク係

(☎0177②1111番内線2156・2158番)

冬の青少年健全育成運動

(~1月19日)

青少年を 非行から守ろう

青少年対策室

〔平成2年度〕
看護学生募集

— 市立高等看護学院 —

- ▷募集人員 40人
- ▷修業年限 3年(ただし、第3学年は臨床実習とします。)
- ▷入学資格 准看護婦(士)で次のいずれかに該当する人。
 - ①免許取得後、3年以上看護業務に従事した人(2年3月で3年就業終了見込みの人を含む)
 - ②高等学校卒業者(2年3月卒業見込みの人を含む)
 - ③高等学校衛生看護科卒業者(2年3月卒業見込みの人を含む)
- ▷願書受付期間 12月1日～平成2年1月16日
- ▷願書受付場所 市立高等看護学院
- ▷試験期日 平成2年2月1日(木)
- ▷試験場所 市立高等看護学院
- ▷試験科目 社会、国語、英語、看護一般、作文面接

詳しいことは、市立高等看護学院(☎342715番 布屋町41番地)教務にお問い合わせください。

冬休み子どもの集い

— 市立図書館 —

- ▷日時 1月10日(水)午後1時～
- ▷場所 市立図書館2階
- ▷内容 紙芝居、映画
- ※1月の休館日
1日～4日、8日、15日、16日、22日、29日、31日

**消防団出初式は
1月5日に**

- ▷時間 午前10時
- ▷場所 元町(専照電気店付近)
- ※お問い合わせは、消防本部(☎352019番)へ



1月10日は 110番の日です

110番5つのポイント

1. 何があったか(ドロボー、交通事故、けんか)
2. いつ、どこで(時間、場所、近くの目標)
3. どんなことが(事件、事故の状況、けが人)
4. 犯人は (人数、人相、特徴、逃走方向)
5. あなたの住所、氏名、電話番号

五所川原警察署

第20回五所川原冬・フェスティバル

月日	時間	場所	行事
2月10日(土)	18:00～	市役所前 お祭り広場	前夜祭(ロックコンサート・ゲーム大会)
2月11日(日)	9:30～	市民文化会館 大ホール	歌謡・民謡・民謡手踊りコンクール
2月11日(日)	9:45～	藻川地区	第4回五所川原津軽タコ揚げ大会(協賛行事)
2月12日(祝)	10:30～ 11:15～ 13:00～	市役所 お祭り広場	ズグリ回し大会 雪上親子綱引き大会 雪上カルタ大会
3月25日(日)	13:00～	市民文化会館	金多・豆蔵55周年記念青森県人形劇フェスティバル

※各行事の出場者を募集しています。

参加資格等のお問い合わせや参加申し込みは市商工観光課内市観光協会(☎352111番内線260番)へどうぞ。

**平成元年度県オストメイト
社会適応訓練講習会**

— 県身体障害者更生相談所 —

障害者社会参加促進事業の一環として、ストマ用装具装着者(人工肛門、人工ぼうこう)の福祉増進を図るため、講習会を開催します。

- ▷日時 1月9日(火)午後1時～3時
- ▷場所 市中央公民館第一会議室
- ▷内容

- ①ストマ用装具の正しい知識等
- ②座談会(助言者 国立弘前病院看護婦)
- ③ストマ用装具の展示
- ④個別相談 日常生活に関するもの、社会福祉サービスについての相談

▷お問い合わせ先 市福祉事務所福祉係(☎352111番内線297番)

一年の計は健康にあり! まずはミニドックから

- ▷実施期間 2月末日まで
- ▷実施時間 医療機関によって実施時間が違いますので申し込み時にお知らせします。
- ▷対象者 昭和25年3月31日までに生まれた方。
- ▷受診方法 市役所衛生課、各支所窓口に備え付けの用紙がありますので保険証持参のうえおいでください。なお受付時に下記の医療機関のいずれで受診するのか指定してください。
- ▷受診料 無料
- ▷診査項目 問診、身体測定、血圧測定、心電図、尿検査、貧血検査、肝機能検査
- ◎実施医療機関名

江 渡 医 院・田辺胃腸科外科医院
小笠原内科医院・対馬内科小児科医院
兼平内科小児科医院・富田胃腸科内科医院
川崎胃腸科内科医院・中村内科医院
木村内科医院・中村整形外科病院
健生病院五所川原診療所・永田小児科内科医院
佐藤仁外科胃腸科医院・白生会胃腸病院
佐藤内科小児科医院・復明堂医院
荘司内科医院・増田病院
白戸胃腸科外科医院・三好診療所
清水胃腸科外科医院・森田診療所
西北中央病院・森内科小児科医院

※上記についてのお問い合わせは、市衛生課(☎352111番内線268、272番)へどうぞ。

休日・夜間の急病は
在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番

短

歌

三五の祈禱に響む太鼓止み銀杏黄葉の冴ゆる境内 山上 和美
庭池の鯉に餌ふる老僧は寄りつく数を首にて数ふ 大久保勘三
ゑさ追ひて浅瀬に群るる白鳥の脚おどるとき 佐藤 義則
冬日に光る 岩谷 明雄
除夜の鐘の音あらたに響き来るわが住む街の平らぎの朝
ベルリンの壁は厚きも打ち砕きなだれのごとく人は越えゆく 関 喜代栄

五所川原短歌会

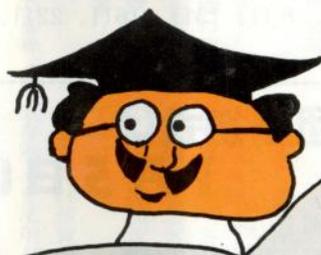
本年も 献血を

期 日	時 間	場 所
1月8日 (月)	午前10時から 正午まで	市役所お祭り広場
	午後1時30分から 午後4時まで	白生会胃腸病院前

よろしく
お願い
します

子宮がん(個別)検診

- ▷対象者 市内に居住する30歳以上の婦人
- ※平成元年4月1日以降集団検診及び個別検診を受診された方は受診できません。
- ▷持参するもの 健康保険証、健康手帳
- ▷受診者負担金 1,000円(ただし、五所川原市国民健康保険加入者、70歳以上の方、生活保護世帯、市民税非課税の方は無料—受付の際証明書を提出してください)
- ▷検診内容 子宮がん検診のみ
- ▷実施期間 2月末日まで
- ▷受診方法 市の指定する産婦人科の窓口で受付し、受診してください。
- ※指定医療機関 川村産婦人科医院、斎藤産婦人科医院、吉田産婦人科医院、森田診療所



みんなの健康教室

- ▷日 時 1月26日(金) 午後1時
- ▷場 所 市保健センター
- ▷講 師 桂 修二先生
(桂整形外科医院長)
- ▷テーマ 「リウマチ関節について」
- 主 催 北五医師会・市民保健協議会